

公民館からのお知らせ

問い合わせ：教育課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】 1月19日(日) 13時~15時
【場所】 明日香村中央公民館 1階 ホール
 〒634-0141
 明日香村大字川原91番地の1
【講師】 関西大学文学部教授 村田 右富実

【内容】 歌から見る持統朝—石見相聞歌—
 詳しくは関西大学教育後援会へお問い合わせ
 してください。

【問い合わせ】 関西大学教育後援会
 ☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

・夕闇と雨の中行くバスに乗り
安達太良山に智恵子を想ふ

西村 道子

・繕いて繕いてなお腕のなか
母の声聞こゆ小さき手提げ

尾関 常子

・薬に穂の孕みる朝つゆに
てり輝きて四方に放ちぬ

森田 幸子

・案山子祭り棚田の畦の曼珠沙華
かかしてコラボ今年も豊作

森本 武志

・稲刈りも広く終りぬその中を
落初ついでむ野鳥ゆつたりと

吉田 清子

・朝は白昼はピンクの酔芙蓉
とことん酔って真つ赤になあれ

藤川 幹代

・老い二人初すり終えてマスクとる
納屋まで届く金木犀の香

脇田 智子

・無罪まで五十八年人生を
奪われ生きる憎き冤罪

森本 千鶴子

・訪れる人もまばらの門先に
今朝ホトトギスきららかに咲く

奥 まさみ

・母の日にわれに贈られしばらの花
箱一杯の花の香りて

米田多嘉子

・ありがたき明日香の景色日本の美
守りて行かむ吾らの力に

森本 博文

・九月には罌雲やら彼岸花
なのに今年猛暑長引く

井本 智子

・香久山を過ぎて西風やや強し
道路の脇の柳葉のゆれにやさしさ感じとる

辰巳 陽子

・テレビ見て遠くへ行かんと想いつつ
知らない町に夢膨らます

山本 修

・短い秋をおきざりに立冬と
木枯らしいちばん手をつなぎ窓たたたく

山本 能世

・秋祭り若者、子ども帰り来て
太鼓響かす於美阿志神社に

友田 昌子

・鬼皮剥き黒き湯捨てて渋除く
絶品の味の栗の渋皮煮

豊田 絹代

・世界へと遺産を目指し一目散
雲の線路を駆け行く飛鳥

勝川 京子

・ポッポーと愛をつげれど逃げられる
傷つくことを恐れぬ野鳩

上中 幾代

・締切日迫りて詠めず落ちこみし
千思万考三十一文字を

田中 祥子

・奥明日香「あの丘こえて」口遊む
ヤッホーの歌に幼日の頭ち

松本 義夫

・あかあかと焰よ燃えよ曼珠沙華
そんな情熱燃やしたかつた

米田 郁夫

・ならびつつ稲刈る頃に育ちけり
「地産地消」看板古りて

脇本 雅子

・被団協がノーベル平和賞受賞
「戦争は悪だ」宮柵二頭つ

米田 靖子